

施策評価管理シート

2014(平成26)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
都市整備部	松本 壽次	63-7764 (都市計画室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	1	魅力的な都市環境づくり
	施 策	3	市街地整備

1. 施策の基本方針

Plan

- ・名張駅周辺の都市サービス機能の充実や名張の顔にふさわしいシンボル性の高い都市空間の形成を目指します。
- ・地域特性に応じた個性的なまちづくりを進めることで、質の高い生活環境を形成します。

2. 目標

○重点目標

Plan

- ・名張地区既成市街地においては、歴史的な地域資源を活かし、地域住民と協働で生活環境の整備や地域福祉の充実を図ります。
- ・名張駅周辺については、交通機能や都市サービス機能の充実を目指します。
- ・希中央地区については、さらなる市街化を促進します。
- ・住宅市街地においては、老朽化してきた都市施設の保全・修復や、交通のユニバーサルデザイン化など高齢者に優しいまちづくりを進めます。

○目標達成に向けた課題

Plan

- ・希中央区域内農地の宅地化については、引続き地域組織や関係部局と連携し、有効な対応策を検討する必要があります。
- ・やなせ宿においては、指定管理に向けた調整を進める必要があります。

<行政評価委員会からの意見>
意見なし

○施策指標（目標）及び達成状況

Plan

Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	60		63.0	
	成果	57.2	50.0	47.6	49.0	49.4		0%
再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合 (%)	目標	-	-	-	39		41.0	
	成果	36.0	76.7	61.5	67.1	77.0		100%
やなせ宿の入館者数【延べ値】 (人)	目標	-	-	-	85,100		136,500	
	成果	17,000	55,400	73,800	93,200	113,800		81%
希中央の宅地化率 (%)	目標	-	-	-	84		94.0	
	成果	67.5	73.5	79.1	79.4	80.8		50%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容

Do

「名張市都市マスタープラン」で掲げた集約連携型都市の中核を担う、都市機能・都市交流・都市居住の市街地拠点については、社会経済状況の好転に伴い、緩やかではありますが、商業・業務などの土地利用が名張駅を中心とするエリアに集積されつつあります。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

「旧細川邸やなせ宿」の運営・管理については「まちなか運営協議会」に委託し、自主的な事業展開を促進してきたところですが、「名張まちなか再生プラン」の発展的な取組として、今後も名張地区まちづくり推進協議会をはじめとする各種関係団体と指定管理者制度の導入に向けての連携・協議を図ります。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 2 事業) **Do** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
			2012 (H24)	2013 (H25)	事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
1178	まちなか支援事業費	地域経営室	0	5,135	C	検討している、今後可能性がある	廃止検討	B	B
5031	旧細川邸やなせ宿等維持管理費 *	都市計画室	6,416	6,015	A	実践している	継続 (現行)	A	A
合計 (単位：千円)			6,416	11,150					
小計 (うち、一般会計分)			6,416	11,150					
小計 (うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価 **Check**

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・希中央2番町の公益施設用地活用事業については、地域コミバスとの連携により、「まちの駅」の利用者拡大に取り組みました。 ・開設5周年記念の「やなせ祭り」においては、他の地域ボランティア団体が行う市制60周年記念行事と共催するなど、活動の幅を広げる取組が実施されました。また生活環境部による人権・環境に関する啓発展示を「やなせ宿中蔵」で実施するなど、他部署の活動と一体となった施設利用も図られました。 ・一般市有地販売の経験や情報を活用しながら、残っていた区画整理事業に伴う保留地を全て売却することができました。また希中央では土地利用が緩やかではありますが進展しており、農地所有者や関係者との更なる情報共有を図りながら、健全で活気ある新しいまちとしての市街化促進に努めます。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

中心市街地の魅力向上には、市民や事業者の取組が不可欠であることから、土地利用や景観等の施策立案段階で、広く市民や事業者の意見を反映できる仕組みづくりを進めるとともに、各拠点の適切な役割分担と連携のもと、まちの顔に相応しい都市機能と都市空間の形成を目指します。

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他 (意見)